

令和6年度 第1回宝達志水町 総合教育会議 会議録要旨

開会日時 令和7年1月10日（金） 午前10時30分
会議場所 宝達志水町生涯学習センター 2階 第1会議室
出席者 寶達町長、細江教育長、西教育長職務代理者、近岡(真)委員、大崎委員、
近岡(宏)委員
欠席委員 なし
説明員 松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長、杉谷学校教育課担当課長、
宮本生涯学習課長
開 会 10時30分

1 開会 町長あいさつ

2 議題

(1) コミュニティ・スクールについて

宮本生涯学習課長がコミュニティ・スクールについて資料に基づき説明した。

(2) 今後の教育行政について

ア 中学校における学習意欲の充実について

杉谷学校教育課担当課長が資料に基づき説明した。

イ 地域の方の集まれる場所について

宮本生涯学習課長が資料に基づき説明した。

ウ 部活動の支援について

杉谷学校教育課担当課長が資料に基づき説明した。

エ 防災教育の推進について

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長が資料に基づき説明した。

オ 外国語教育の充実について

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長が資料に基づき説明した。

カ 教育委員会会議資料のペーパーレス化について

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長が資料に基づき説明した。

キ 町内高校生の通学補助について

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長が資料に基づき説明した。

(3) その他

部活動の地域移行について

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長、宮本生涯学習課長が資料に基づき説明した。

3 閉会 教育長あいさつ

【コミュニティ・スクールについて】

寶達町長

- 新しい統合小学校について、地域に根ざした活動や見守り活動を地域の皆さんの協力をいただいてやっていく。重要な取り組みなので、コミュニティ・スクールの協議委員の方々も含めてしっかりと体制を作って準備を進めていく。皆様には進行状況を示しながら取り組んでいきたい。

【中学校における学習意欲の充実について委員の意見等】

近岡(真)委員

- 東大セミナーが始まったときに受講した生徒が、すごく学力が伸びて進学先の高校で活躍していると聞いた。金沢とは違って近くに塾がないのでこういったセミナーや西岡氏の講演を聴くことは、学力向上とともに人材育成にもなっていると思うので、そこに予算を確保していただきたい。

また、ドローン教室やプログラミング教室など未来を担う子どもたちの職業選択が広がるような授業を取り入れることはできないか。発想の豊かな子どもたちがいっぱいいるので、科学的、芸術的、スポーツ的ないろいろな分野に触れ合って実際に体験できる機会ができればいい。

寶達町長

- ドローンについては、町内にレッスンをしてくれる会社の方がある。ドローンだけでなく、これから新たに生まれてくる便利なものや技術にも触れていくことで新たな発想が生まれたり、子どもたちの力になったりしていくと思う。予算についてはできる限り惜しまずにやっていきたい。このようなことを通じて地域において特色のある教育を進めていければと考えている。

細江教育長

- いろいろな情報を集めている。実現できるものを紹介させていただく。

杉谷学校教育課担当課長

- 年間の授業時数は決まっているが、例えば、総合的な学習の時間の「探求」というテーマで年間計画に位置づければできると思う。プログラミング学習については、小学校では算数や理科に、中学校では技術に入っている。そういった形で子どもたちの可能性を引き出すような取り組みをしているので、教育課程カリキュラムの中で運用ができる部分については取り入れていくことは可能だと思う。

大崎委員

- 東大セミナーは、先生方の理解も深まり指導法の良いところを吸収できているのではないかなと思う。教育課程に位置づけたことによって体系的に学習することができるようになって効果が上がると思う。お金もかかるがこれを続けていって子どもたちの学力向上、それから学習面の意欲に繋がればと思う。

また、西岡壱誠さんの講演は、大学生で起業するとか私たちが考えもしなかったような話もしていて、これからの子どもたちに大学生、社会人はどういうあり方が必要か、どういうことが変わっていくのかということに中学生のときから触れることができて大変いいことだと思う。

近岡(宏)委員

- 先日東大セミナーの授業を見させてもらったが、生徒たちの意欲や積極的なモチベーションをものすごく感じた。学力だけではなくて一生懸命取り組むという基礎を作る大事な時期だと思う。「きっかけ」、「刺激」、これがすごく重要なキーワードになるのでは思った。ぜひ継続していただきたい。

あと、先駆的に当町でこういう取り組みを始めたということで、未来志向のある教育になるのではないかと思う。どんどん子供は減ってくるのでひょっとしたらこれで宝達志水町に住んで学校に通いたいと思う子が将来現れるかもしれない。そういうことも含めてどんどんPRしてほしい。

【地域の方の集まれる場所について委員の意見等】

大崎委員

- 小学校が統合して小学校がなくなり、地域で集まって校区なり地区の意見を集約した繋がりを維持することが、大変難しくなる。公民館の分館があればその代替措置として機能する。公民館の働きは、生涯学習だけではなく、社会福祉関係、防災防犯、田畑など産業振興にも関係する。1月の震災のとき、仮に地域に公民館の分館みたいなものがあって日ごろから防災士や防犯協会、民生委員で話をしていればまた違う協力の仕方があったと思っている。空いた学校の一角でいいのでそういう場所を作って集まったりする機会を作ればいい。地域が活性化すれば町の活性化に繋がると思う。地域の絆をまた繋げる、そういう動きをするのは生涯学習課の皆さんの大事な役割でもある。

寶達町長

- 町の公民館については、体制が脆弱なこともありカルチャースクールみたいなものを月に1回の実施にとどまっている。公民館活動については、町民から協力してくれる方を募ったりしながら体制を強化していきたい。地震を例に挙げていただいたが、被災状況について横の情報共有も重要だと思うので、連携や協力をしっかりできるような体制となると公民館のような枠組みがいいと思うので検討していきたい。

大崎委員

- 生涯学習課の皆さんは、人員が不足してやりたいこともなかなかできないこともあったのではないか。あと、図書館についてだが、人が集まる場所やゆったりくつろげる場所があったらいい。近くの公園に散歩するなどくつろげたり、公園のあるようなところと連携しながら図書館を運営していくのはいかがか。

細江教育長

- 図書館は、人が集まってゆったり心穏やかに過ごせる場所として地域の拠点となっている。そこからさらに発展していくということで、できるところから一つずつ進めていければと思う。

【部活動の支援について委員の意見等】

西教育長職務代理者

- 保護者による送迎が全体を通して年間 145 回もあったというのは驚いた。保護者の送迎に対して、何か事故があったときに保護者個人の保険を使うことになると思うが、町として全体をフォローできる保険はないのか。

杉谷学校教育課担当課長

- 調べたが、例えば私が他人の車を借りた場合は、ちょい乗り保険というものがあるが、私が自分の車に新たにその日だけの特別な保険を掛けるというような保険はどこもなかった。保護者が運転して何かあったら保護者の自賠責保険等での対応になる。もう一つは、校長が練習試合等は認めているのでスポーツ振興センターの保険を適用する場合もある。

【防災教育の推進について委員の意見等】

近岡(真)委員

- 震災の経験を今後につなげていかなければいけないと思う。本町には救急救命のプロや自衛隊出身の方もいるので、出前講座などで伝えてほしい。
1 月の地震の際、樋川小学校に避難した。これが閉校した後の地震だったらどうなっていたんだろうと考えるとおそろしい。

寶達町長

- 統廃合後もできる限り避難を受け入れられるような環境を継続していきたい。

【外国語教育の充実について委員の意見等】

近岡(真)委員

- 地域おこし協力隊の山崎さんの任期が終了する。任期が終わった後も本町に残って学習塾をしたいという気持ちもあるので、今後山崎さんの待遇や保障面を検討して学校の方に継続して入ってもらえないか。

寶達町長

- 山崎さんの能力や実績は評価している。どのような形で協力してもらえるか考えていきたい。

【教育委員会会議資料のペーパーレス化について委員の意見等】

西教育長職務代理者

- 資料の準備の手間と紙のコストもあるが、いずれ教育委員会がオンライン会議になってもいいのではと思っている。ペーパーレス化は今のところは全く検討していないということか。

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長

- 教育委員会の中で、こういった方法でどういうやり方が一番いいかということを経験させてほしい。

【町内高校生の通学補助について委員の意見等】

寶達町長

- かほく市並みの補助は難しいができる範囲で前向きに考えたい。

【その他：部活動の地域移行について委員の意見等】

細江教育長

- 部活動の地域連携の受け皿について、アクションを起こしていくつかのクラブチームに受け入れ可能かどうかを聞いている。多くの団体は自分たちが楽しむのはいいが中学生が入ってくるのは少し抵抗があるということだった。剣道は何とかできる、男子ソフトテニス、野球については宝スポがらみで調整している。指導者の助成金に費用が結構かかるということで、保護者負担をどうするかということが大きな課題になっている。専門的なクラブチームを土曜日に作れない場合においては、（仮）何でもクラブという自由な運動ができる部活動を考えている。

【その他委員の意見等】

近岡(真)委員

- 2点お願いする。1つ目は、閉校となる3校の児童は児童数も増えて学習環境が大きく変わり戸惑う。個々の状況を把握している支援員やスクールカウンセラーを継続して新校にしばらく配置してほしい。

2つ目は、町にあるたくさんの名所名物を巡るツアーを実施して町の良さをあらためて知ってもらえるような公民館における取り組みをお願いしたい。

松浦学校教育課長兼小学校統合準備室長

- 我々も統廃合をして安定した学習をめざしているのでご意見を踏まえた上で対応していきたい。

西教育長職務代理者

- かほく市は若い世代が増えていて本町も増えればいい。

寶達町長

- 良い教育環境であるということを委員の皆さんからも伺った。さらに伸ばして町内外へPRしていきたい。また、本町へ移住してもらえるよう、安全な場所を選ん

で宅地造成をやっていきたい。

大崎委員

- 統合したら子ども会はどうなるのか。いつの間にかなくなっていたとかそういうことのないようお願いしたい。

宮本生涯学習課長

- 子ども会は直接把握していないがP T Aを通して確認できるので、コミュニティ・スクールと連携しながらやっていく。

(以上)

閉 会 1 2 時 1 0 分